

THE
EFFECTS
COMPANY

Supersmoke
1000

スーパースモーク1000取り扱い説明書

株式会社ギミック

スーパースモーク1000は、高い水準に基づき、長期間のトラブル発生が無いよう設計、製造されています。

電源への接続

電源ケーブルについているカードに表示されているように電源部に接続します。

茶色：ライブ、青：ニュートラル、緑/黄：アース

*安全のため、この装置はアースに接続してください。

液

ほとんどのタイプの、品質の高いスモーク液が使用できます。ご不審な場合は、製造者、販売者にアドバイスを求めてください。

操作

- 1) 機械の後方にあるソケットにリモートコントローラーを接続してください。
- 2) 電源を接続してください。本体の“MAINS ON”のネオンとリモートコントロールの“POWER ON”ランプが両方点灯しヒートを開始します。
- 3) 2.5リッター液ボトルを本体にセットし、チューブを差込み、キャップをねじ込みます。
- 4) 約7分後、リモートコントローラーの“READY”ランプが点灯します。これで、発煙準備完了です。(ボトルをセットしないとセーフティスイッチが働きヒート終了時でもランプは点灯しません。)
- 5) この機械には、ヒーターブロックの温度が一定以下になると発煙動作を停止する機能が備わっています。これはリモートコントローラーの“READY”ランプにリンクしています。

フィルター

内臓フィルターは、ポンプの漏れ止めがダメージ受けたり、吹き出しノズルの詰まりが起こる前に異物を取り除いています。多孔質フィルターエレメントの孔が汚れていないか、日頃から確認してください。

初期ヒーティング

新品の電源を入れヒーティングを開始するとわずかな悪臭が発生することがあります。これは、ヒーターブロック中の断熱材の有機接合剤が熱せられるためで、異常では有りません。

リモートコントロール

リモートコントロールは0 - 10Vシステムと互換ですので、照明卓などでコントロールする

ことも可能です。ステレオジャックプラグが2本リモートコントローラーに入っており、任意の長さのリモートケーブルを作成することができます。低電圧DC信号でコントロールする場合長距離の引き回しによる電圧降下による諸問題なしでリモート操作することが可能です。さまざまなタイプのコントローラーが、用意されています（詳しくは営業、販売者まで。）それらは、相互に交換性が有りどのスモーク1000や2000にも使用できます。すべてのリモートはジャックソケットとリアボックスを取り外し、パネルにマウントすることができます。それらを3方向ターミナルブロックに置き換えます。フロントパネルはパネル（切り欠きサイズ：38mm×80mm）に既存のネジ穴を通して組み込みます。本体とリモートの間には三線式が使われています。すべてのリモート線をつなげ、コントローラーに接続すれば単体のリモートで何台かの装置をコントロールすることができます。（例；“スプリッター・ジョインター”ボックス）

ポンプ

ポンプは“連続定格”で、したがって、液の通過が有り続けた場合の時間合計の制限が無いのであり、2分以上液なし“RUN DRY”で動かすことを認めるものではありません。水圧系統に空気が入り込んだ場合（例：フィルターを手入れしたり、空の液ボトルを入れ替えた場合）、空気を速やかに排出するためにスモーク出力コントロールを最大にしなければなりません。液なしでポンプを動作させた場合、顕著なノイズの増加があります、これはポンプに液が入った時点で事実上消滅します。

サーマルヒューズ（温度ヒューズ）

電氣的、温度的な感知システムが高水準に基づき処理されています。温度ヒューズが、組み込まれており、電氣的に独立した配線で入っています。ヒーターブロックの上蓋部分に温度超過を感知し本体への電源を遮断するヒューズが設置されています。このような事態が発生した場合原因説明後このヒューズを交換する必要が有ります。

総合的な注意事項と整備

*水滴に注意してください。特に液ボトルを収納した装置周辺。

*プリント基板部ヒューズ：20×5セラミックHRC-5アンペア

*装置は、定期的に営業・販売者に電氣的、圧力系統などの内部検査を依頼してください。

スペアパーツは各種ご用意していますので営業・販売店に価格など詳しいことをご相談ください。

ヒーターブロックの取り外し及び再組み立てをするには

ヒーターブロックはスーパースモークの主たるパーツであり、あらゆるサービスの後に正常に動作することを確認するようケアしなければなりません。内部構造は以下の様になっています。

上部から

- 1) 鉄板
- 2) 銅コイル
- 3) アルミプレート（温度ヒューズはめ込み口つき）
- 4) 放射状ヒーターエレメント
- 5) アルミプレート（温度センサーとセラミックターミナルブロック取り付け）
- 6) 銅コイル
- 7) 鉄プレート（“脚部”を通してケースに接続）

ブロックは以下の手順で取り外してください。

- 1) 蓋を開ける
- 2) 温度ヒューズを外す
- 3) 上部断熱材を外す
- 4) ヒータープレートのアース接続部のネジを外す、アース線を外す
- 5) 5本のメインボルトを外す
- 6) 上部鉄プレートを外す
- 7) コイルを先端からずらす
- 8) アルミプレートを外す
- 9) 放射状ヒータを外す
- 10) アルミプレートを外す（セラミックターミナルブロック付き）
- 11) 完全にコイルをずらす

再組み立ては、上記と逆の順序で実行します。

重要事項

5本のメインボルトはしっかり締め付けてください。でなければ、湿ったスモークが発生します。最初に手締めをしてください。最終的には13mmのソケットレンチで締め付けてください。締め付けトルクは20 lbf・2.25 Nmで行ってください。

- * ボルトの取り外しは機械が熱いときには行わないでください。ネジの擦り切れの原因になります。十分に冷めてから行ってください。

アクセサリ

* ドリップトレイ

スーパースモークはとてもドライなスモークを生成しますが、完全にノズル先端からの漏れを防がなければならない、天井に吊ったりするような場合の別の考え方として、ドリップトレイを用意しています。ドリップトレイは単独、もしくはダクトアダプターとセットで、スーパースモーク前面の3つの隆起した瘤を通して固定します。固定の際、スーパースモークのセット位置に応じて調節可能です。

* ダクトアダプター、51mmダクト

これは、スーパースモーク前面に固定し51mm径のダクトを設置できるようにするものです。ダクトは、10mの長さで色は黒で用意しています。ダクト内の水溜まりのチェック、特にマシ近くの部分のチェックをお勧めします。常設などの条件の場合は、ドレインプラグ付き“U”字パーツの設置をお勧めします。

故障かな?と思ったら

問題	対処
“MAINS ON”が点灯しない	外付けヒューズが切れていないか、電源プラグがささっているか確認
“MAINS ON”が消えて停止した	外付けヒューズが切れていないか、電源プラグがささっているか確認 内部の温度ヒューズが切れていないか確認
“MAINS ON”は点いているのに、装置が停止しリモートコントローラーの表示がすべて消えた	プリント基板のヒューズに異常が無い確認 リモート用のプラグが抜けていないか確認
リモートコントローラーの“POWER ON”は点くが、いつまでたっても“READY”が点かない	放射状ヒーターが切れていないか確認 プリント基板の異常の確認
湿ったスモーク	ヒータープレートのネジの増し締め
スモークの出が悪い	フィルターを確認 各種液関係のチューブに破損が無い確認 ヒーターブロック内の銅コイルが詰まってないか確認
ポンプがうるさい	液の流れが正常か確認 ポンプに液が到達するまで時間をおく

スーパースモーク1000 定格

外径寸法；470mm (L) × 243 (W) × 142 (H)

ヒートアップ時間；約7分

使用電力；100～110ボルト 50/60ヘルツ 14アンペア

重量；10.5Kg

各部の名称と働き

スーパースモーク1000

